

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	数学Ⅱ D	
科目基礎情報							
科目番号	191013			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建設環境工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材							
担当教員	佐藤 文敏						
到達目標							
1. 行列の演算ができる。				2. 行列式の計算ができる。			
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	行列の基礎理論に関する問題ができる。			行列の基礎理論に関する簡単な問題ができる。		行列の基礎理論に関する問題ができない。	
評価項目2	行列式の基礎理論に関する問題ができる。			行列式の基礎理論に関する簡単な問題ができる。		行列式の基礎理論に関する問題ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-1							
教育方法等							
概要	この教科では、行列と行列式について基礎的な内容を学習する。						
授業の進め方・方法	教科書に沿って基礎事項と例題を解説した後、各自練習問題等を解くという形式で講義する。適宜、レポート等を課す。						
注意点	予習・復習すること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週	ガイダンス, 行列の演算			簡単な行列の演算が計算できる。	
	4thQ	9週	逆行列			簡単な行列の逆行列が求められる。	
		10週	逆行列と連立1次方程式			簡単な行列の逆行列が求められる。逆行列を使って連立1次方程式が解ける。	
		11週	連立1次方程式と行列・中間試験			行列を用いて連立1次方程式が解ける。	
		12週	行列式			簡単な行列の行列式を求められる。	
		13週	行列式			簡単な行列の行列式を求められる。	
		14週	行列式の応用			行列式を用いてさまざまな問題が解ける。	
		15週	行列式の応用			行列式を用いてさまざまな問題が解ける。	
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0